

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	特用林産推進対策事業			事業コード	1947
所属コード	154000	課等名	産業振興課	係名	
課長名	大澤正一	担当者名	今 芳則	内線番号	254
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産基盤の整備	コード	2
予算費目名	一般会計 6 款 2 項 1 目 総務事務 (001-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

しいたけ等茸類の主産地化形成，生産技術の向上及び生産者の意欲醸成・育成を図る。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

林業に関わる事務である。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。（3）からどう変化したか。

18 年度より林政課において事務を行う。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

しいたけ生産者

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A しいたけ生産者数	人	10	11	11	11	11
B						
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

振興局等からの特用林産物に係る調査等への対応。

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 研修会の回数	回	1	1	1	1	1
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

生産量等の把握が, 林業振興の一助となる。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 乾しいたけ生産量	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	kg	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	20	20	20	20
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	80	80	80	80
計	トータルコスト A+B	千円	80	80	80	80
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

生産量調査が林業の振興に結びついている。

② 市の関与の妥当性

市内でのしいたけ生産量を把握する調査であり、市が関与すべきである。

③ 対象の妥当性

特用林産物生産者を対象としており妥当である。

④ 廃止・休止の影響

市内の特用林産物の生産量把握に必要な調査であり、廃止・休止できない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上余地がない

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

公平・公正である。

(4) 効率性評価

最低限の経費で行っている。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

玉山区に係る事務について、今後も林政課と連携し継続してまいりたい。